

三 十二神山と大蛇

ずっとむかし、十二神山の頂に大きな沼がありました。嫁入りするため馬に乗って鈴を鳴らしながら行列が懸坊のところを通ったところ、この沼から大蛇が雲に乗って飛んで来て、このお嫁さんをさらって行ってしまいました。この大蛇を討つため平太という有名な弓の名人が毒矢をもって今の光温泉のずっと上の方にある権現岩のかげで七日間、祈とうしながら待ちました。

そして、七日目の晩にこの大蛇を討とめました。家に帰って、しばらくするとこの平太は病気になるってしまいました。ある日、美しく着飾ったきれいな娘が平太のところに来ました。そして「大蛇を退治していただきありがとうございます。とていねいに礼をのべました。そして、帰りぎわ、弓矢をとりだして「かたきを討たれた」といったという。